

カナダ 9月2大州フィードロット飼育:63万3千頭で、3%増

	2014年	2015年	前年比
8月1日フィードロット頭数	674,366	674,572	100.0%
8月搬入	94,841	98,060	103.4%
8月出荷	151,719	135,974	89.6%
8月消失	2,336	3,232	138.4%
9月1日フィードロット頭数	615,152	633,426	103.0%

アルバータ、サスカチュワン西部2大牛飼育州の1千頭以上規模15年9月フィードロット飼育頭数は63万3千426頭。前年比3.0%増、過去5年平均比でも4.7%増。

8月のフィードロット搬入は9万8千60頭で、前

年比3.4%増、過去5年平均比では22.8%減。

8月の搬入は272^千以下が4千345頭で、23.8%増。273-317^千が5千162頭で、20.0%増。318-362^千が1万1千379頭で、5.8%減。

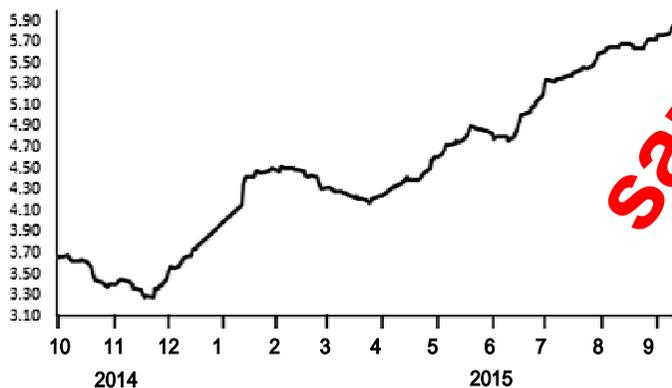
363^千以上が7万7千174頭で、3.0%増。318-362^千級のみが前年比減。

総搬入数の中では若齢去勢が6万7千821頭で、69.2%を占め、若齢雌は3万239頭で30.8%。

8月の出荷は13万5千974頭で、前年比10.4%減。過去5年平均比でも18.7%減。

豪州 EYCI、史上最高値に

2014-15 EYCI推移(千円当たりユーロ)



5.00ユーロ(783円)となった。

厳しい干ばつが牛肉生産に打撃を与えているが、逆にこれが豪産牛肉の需要を急激に押し上げた。

豪州北部の牛生産地域で干ばつが長引き、飼育頭数が減少、出荷用の生体が減少している。干ばつの影響を受けている州の多くの牛肉生産者はと畜を増やしている。

このような状況と豪ドル安が合わさり、豪産牛肉の価格競争力が高まっているが、生産者価格を上昇させる要因ともなっている。

生体輸出増とと畜増で、ここ数年、雌牛のと畜が増えているため、2016年は飼育頭数が減少し、干ばつが始まった2012年比では10%減となる見込み。

飼育頭数は1995年以降の最少となりそうだが、緩やかながら飼育拡大も予測されている。

パッカーと生体輸出需要が高いため、飼育頭数減は避けられそうにない。

このような状況のため、生体価格高は2016年も継続すると見られる。

豪州の牛業界は、米、中国、アジア市場での需要高で、ますます活気付いている。

6月、東部若齢牛指標価格(EYCI)は、史上初の千円当たり5.00ユーロ(1ユーロ135円換算で675円)に達した。

(編集部注: イギリスの英国農業園芸開発公社のレポートのため、ユーロ表記となっています)

その後も上昇を続け、9月初旬には千円当たり

豪州 8月の牛肉輸出額は25%増

豪州統計局(ABS)によると、8月の牛肉輸出額は、輸出量が5%減になったにも関わらず、25%増。FOBで8億3千500万豪ドル(1豪ドル87円換算で693億1千万円)。輸出額が拡大したのは、8月平均で1豪ドル73米ペソと安かったため。

1-8月の輸出額は35%増の62億豪ドル(5千394億円)で、過去5年平均比では83%増。世界的に豪産牛肉に対する需要が高かったことと、豪ドル安で米などの他の競合製品よりも価格競争力が高まっ

っていた。

1-8月、主要輸出先すべてで輸出額は前年を上回った。米への輸出額は81%増の22億豪ドル(1千914億円)。日本は22%増の12億豪ドル(1千44億円)。韓国は33%増の7億6千800万豪ドル(668億2千万円)。中国は41%増の6億4千万豪ドル(556億8千万円)。1-8月の対米、対中輸出額はともに過去5年平均比3倍増。1-8月の牛肉輸出単価は27%高となり、千円当たり6.84豪ドル(595円)。